

県産養殖魚「かぼすブリ」が販売の勢いを増しています。



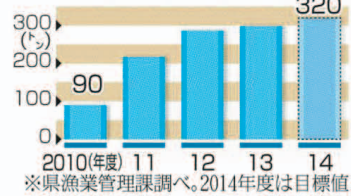
11月から3月までの期間限定で販売される「かぼすブリ」。11月に大分市内の県漁協直営店であった試食販売では用意した20匹がすぐに売れた

かぼすブリ 勢い増す

カボスを餌に使った県産養殖魚「かぼすブリ」が販売の勢いを増している。知名度の向上で販路は東北地域まで拡大。以前は少なかった県内でも流通量が増えている。本年度の生産は当初の目標（320ト）を大きく上回りそうだ。漁業関係者は「関あじ・関さばに次ぐ全国ブランドに」と期待を高めており、売り込みに力を入れる。

販売は11月から3月までの期間限定。県によると、出荷が始まった2010年産の生産量は90ト。ほぼ全量が県外出荷で、12年から香港への輸出も始めた。販路は次第に広がり昨年度は北海道からの注文もあった。

かぼすブリの生産量



「全国ブランドに」高まる期待

東北にも販路 生産「目標上回る」

活動を実施するなど、さらなる拡大に取り組み。「全国ブランドになるには県民から愛される魚でなければ」と県内の流通も重視する。当初は県漁協直営2店だけだったが、12年ごろから増えてきた。今年11月に大分市の直営店で実施した試食販売では、用意した20匹がすぐに売り切れるほど盛況だった。

販売の勢いは生産にも好影響を与えた。これまで手間やコスト、小口注文への対応がネックで養殖業者が増えなかったが、今年から新たに4業者が生産を始めた。臼杵市の養殖業者の佐ウターの量産化や、食味の良さの栄養学的な検証を進めている。

関あじ・関さばに次ぐ全国ブランドに」と期待を高めており、売り込みに力を入れる。

関あじ・関さばに次ぐ全国ブランドに」と期待を高めており、売り込みに力を入れる。

①「かぼすブリ」とは、どのようなブリでしょう。

.....

.....

.....

.....

②「関あじ・関さば」とは、県内のどの地域のどのような特長のあるアジ、サバでしょう。

.....

.....

.....

.....

③ほかに県内のブランド魚には、何があるでしょう。調べてみよう。

.....

.....

.....

.....